

提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会について

1 アンケート結果等

アンケート対象		対象者数	回答者数	回答率
発表団体	会場参加	19	15	78.9%
	オンライン参加	1	1	100.0%
一般	会場参加	14	9	64.3%
	オンライン参加	7	3	42.9%
合計		41	28	68.3%

※市民活動推進委員会、事務局、UMECO職員のうち報告会従事者は除く。

※発表団体（会場参加）には、提案型協働事業担当課の市職員2人を含む。

※一般（21人）の内訳：R5補助金事業団体9人、UMECO職員5人、小田原市職員1人、その他6人

①

※以下の集計では、会場参加を「会場」、オンライン参加を「OL」と表記

※網掛けは、「2方針（案）」に関連する部分で、対応する符号（①など）を記載。

Q1 今回の報告会をどこでお知りになりましたか。

選択肢	発表団体		一般		会場計	OL計	合計	
	会場	OL	会場	OL				
広報小田原	1				1		1	3.6%
市ホームページ		1		1		2	2	7.1%
市ツイッター								
UMECOホームページ			1	1	1	1	2	7.1%
チラシ・ポスター			2		2		2	7.1%
市の案内	11		2	1	13	1	14	50.0%
その他	2		3		5		5	17.9%
無回答	1		1		2		2	7.1%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

※その他の内容：おだわら市民学校、団体の仲間より

①

Q2 会場参加とオンライン参加の選択制について、どのように思われましたか。

選択肢	発表団体		一般		会場計	OL計	合計	
	会場	OL	会場	OL				
良かった	13	1	7	3	20	4	24	85.7%
悪かった	1				1		1	3.6%
その他								
無回答	1		2		3		3	10.7%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

②

※良かった理由

- ・参加しやすい。
- ・多くの方に、市民活動のことを知ってもらえる。
- ・団体の思いに直に触れることができる。（会場参加）
- ・報告に集中できる。（OL参加）

※悪かった理由

- ・各種団体の交流の場として活用したかった。

Q3会場の音響や映像はいかがでしたか。(オンライン参加の場合はZoomの状況)

選択肢	発表団体		一般		会場計	OL計	合計	
	会場	OL	会場	OL				
問題なかった	10		3	3	13	3	16	57.1%
音声が聞こえにくかった	2		3		5		5	17.9%
映像が止まることがあった		1				1	1	3.6%
その他	2		1		3		3	10.7%
無回答	1		2		3		3	10.7%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

Ⓒ

※その他の内容：発表者の声の大きさに合わせて、マイクの音量調整を行ってほしい。
スクリーンが遠く、資料が見えにくかった。

Ⓒ

Q4発表時間(8分まで)の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体		一般		会場計	OL計	合計	
	会場	OL	会場	OL				
長い			1		1		1	3.6%
適切	15	1	6	2	21	3	24	85.7%
短い			2	1	2	1	3	10.7%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

Ⓓ

※長い場合の適切な時間：5分

※短い場合の適切な時間：10～15分

Q5質疑応答時間(7分程度)の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体		一般		会場計	OL計	合計	
	会場	OL	会場	OL				
長い			2		2		2	7.1%
適切	15	1	7		22	1	23	82.1%
短い				2		2	2	7.1%
無回答				1		1	1	3.6%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

Ⓓ

※長い場合の適切な時間：5分

※短い場合の適切な時間：10分

Q6発表では「コロナ禍で工夫したこと」「他主体と連携できたこと」「今後の資金確保策」に言及いただきましたが、いかがでしたか。

選択肢	発表団体		一般		会場計	OL計	合計	
	会場	OL	会場	OL				
他団体の参考になると思う	11	1	6	2	17	3	20	71.4%
他団体の参考にならないと思う			1		1		1	3.6%
他に提起してほしい内容がある								
その他	2				2		2	7.1%
無回答	2		2	1	4	1	5	17.9%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

Ⓔ

※他団体の参考にならないと思う理由：事業目標に対する成果が見えにくい。

※その他の内容：不明(発表団体で、他団体の発表を聞いているところが少ない)

Ⓔ

発表の中でそれぞれの言及がなく感じた。
連携については参考になった。

Q7 その他、ご意見等を自由に記入してください。

- ・簡単な委員紹介があっても良かった。
- ・市民活動に興味があったが、補助金の適正利用を確認することが主題の報告会と感じた。
- ・基本的な質問（予算との整合性など）は、事前に事務局がチェックし指摘できたのでは。
- ・発表者は、マスクなしの方が音声が聞きやすいと思う。
- ・今年は、配布資料が充実していて良かった。
- ・補助事業の詳細を知れて大変勉強になり、今後の活動の参考になった。
- ・関係者の参加が多いようなので、一般参加が増えると良い。
- ・共通する質問が多いので、事前に質問事項を配布した方が時間の節約になるのでは。

Q8 あなたについて教えてください。

選択肢	発表団体		一般		会場計	O L計	合計	
	会場	O L	会場	O L				
市内在住	12	1	8	2	20	3	23	82.1%
市外在住	3		1	1	4	1	5	17.9%
合計	15	1	9	3	24	4	28	100.0%

○交流シート

- ・質問については2件、連携希望については4件の回答があった。
- ・連携希望4件の現時点での状況

令和5年度事業における協力	… 1件	㊦
具体的な時期は未定だが今後協力	… 1件	
協力できることがあれば具体的に検討	… 2件	

2 次回の方針（案）

※詳細な開催案は、今後、事務局から提示する予定。

アンケート等考察	次回の方針（案）
㉠一般市民の参加が少ない状況である。（令和5年度補助金事業団体、UMECO職員、市職員を除くと6人のみ。）	①おだわら市民学校受講生の参加が比較的多いことから、市所管課の実施事業に参加している市民へのPRを強化する。そのほか、一般市民向けの周知方法を検討する。
㉡Q2において、8割以上が参加方法を会場とオンラインから選択できたことを「良かった」としている。	②会場参加とオンライン参加の選択制を継続する。
㉢Q3において、約2割が「音声が聞こえにくかった」としており、マイクの音量調節についての意見もあった。また、「スクリーンが遠く、資料が見えにくかった。」とする意見があった。	③マイクの音量調節に対応できるよう人員を配置する。また、資料が見えにくかったことに関して、会場レイアウトを工夫したり、プレゼン資料を印刷・配布したりすることを検討する。
㉣Q4・5において、いずれも8割以上が発表や質疑応答の長さを「適切」としている。	④発表（8分まで）、質疑応答（7分程度）のいずれもそのまま継続する。
㉤Q6において、「コロナ禍で工夫したこと」「他主体と連携できたこと」「今後の資金確保策」への言及について、7割以上が「他団体の参考になると思う」としている。一方で、「不明（発表団体で、他団体の発表を聞いているところが少ない）」という意見があった。	⑤各団体の活動の参考になるよう、発表における特定のテーマへの言及を継続し、テーマについては、開催時点の状況を踏まえて検討する。 ⑥発表団体には、1部または2部に通して出席いただくよう案内していたが、途中入場・退出もみられたため、改めて案内を徹底する。
㉦交流シートをきっかけに、件数としては少ないものの、団体同士の連携が始まっている。	⑦交流シートを継続する。